

第2期(令和4年度～8年度)オーテピア高知声と点字の図書館サービス計画概要

「みんなでつなぐ♡読書バリアフリー!!」

計画の趣旨・目的

- ・第1期サービス計画（平成29年度～令和3年度）の終了に伴い、次期サービス計画を策定
- ・第1期サービス計画の成果や課題を踏まえ、施設運営の柱となる基本理念や基本方針、サービス、取組について策定

基本理念

すべての人を『本』の世界へ

「読書が困難な人」の生涯学習や文化活動、暮らしや仕事の中で起こる様々な課題解決を支援します。誰もが同じように、読書や様々な情報を利用することができる社会の実現に寄与することを目指します。

基本方針

- I 読書が困難な人の読書・情報環境の充実
- II 視覚に障害のある人の生活を支援する情報提供の充実
- III 県民・市民との協働による読書・情報サービスの充実

計画の推進のために

(1)読書バリアフリーは共生社会実現の重要な基盤⇒ 読書は、教養や娯楽を得るだけでなく、教育や就労を支える重要な活動

(2)エンパワーメントを意識した取組を⇒ 障害のある人の社会参加の促進や自己実現など、その人が自分の人生を生きていくことを応援し、力になれるように。

人間は一人ひとりがすべて異なる存在であり、この違いをかけがえないものとして受けとめ、互いが理解し合い、共に生きる「共生社会」の実現に寄与

次の点に留意し、取り組む

「誰一人取り残さない」SDGsの達成に貢献

読書バリアフリーによる読書が困難な人の書籍等への情報アクセス向上は、質の高い教育の確保、情報の不平等の是正や公正さの確保にもつながる

第1期サービス計画の成果・課題

成果指標実績：新規利用登録者数 255人
取組：県内全域を対象に障害、高齢、病気など様々な理由で読書が困難な人への読書支援を実施
課題：読書困難者の少数の人しかサービスを利用できていない

読書が困難な人の読書・情報環境の充実

成果指標実績：視覚障害に関する相談件数 877件
取組：見えない・見えにくいことの困りごと相談、高知県眼科医会の進めるロービジョンケアネットワークに参加、協力
課題：視覚障害者の様々なニーズに応える情報提供のポータルとしての役割をさらに充実

視覚に障害のある人の生活を支援する情報提供の充実

成果指標実績：ボランティア図書製作数 1,574タイトル
取組：読書バリアフリーやボランティア活動への理解、啓発。各種サービスを支えるボランティアの養成・育成
課題：現在の図書製作数を維持継続できるように、ボランティアの養成や活動支援に取り組んでいくことが必要

県民・市民との協働による読書・情報サービスの充実

第2期サービス計画のサービス・取組

取組の方針：みんなでつなぐ♡読書バリアフリー!!

○読書のカタチを選べます! 「バリアフリー図書」様々なバリアフリー図書で読書を支援



○最重点取組（新規）

- (1)市町村図書館等との読書バリアフリーサービス連携・協力
- (2)読書が困難な人が多く利用する施設等（福祉、教育、医療機関など）との連携・協力体制の構築

取組の方針：気軽に相談できる情報提供の窓口に！福祉、医療その他様々な情報を提供

取組の方針：みんなで支える読書バリアフリー!! 300人のボランティアの皆さんと一緒に 読書バリアフリー理解、啓発。各種サービスを支えるボランティアの養成・育成。

《サービス・取組の概要》

I 「読書が困難な人」の読書・情報環境の充実

取組の方針：「みんなでつなぐ♡読書バリアフリー!!」

1 読書バリアフリーサービス

読書が困難な人が本の内容にアクセスできるように工夫された様々なバリアフリー図書で読書を支援
読書機器の貸出、図書の郵送・宅配サービスなど、県内どこでも誰もが手軽に読書を楽しめるサービスを実施

(1) 読書のカタチを選べます！「バリアフリー図書」



録音図書（声の本）



点字図書



マルチメディア
デジ図書

(2) 読書機器の貸出サービス

- ・録音図書再生機の貸出
- ・マルチメディアデジ図書
再生用タブレットの貸出

(3) 宅配・郵送サービス

(4) ICT利用支援

(5) 利用者個々のニーズに応えるサービスの充実

- ・対面音訳サービス ・活字図書のメディア変換サービス

(6) 様々な障害のある人への読書支援を充実

読書機器の利用やバリアフリー図書の選定などに配慮し、
様々な障害のある人にその人にあった読書スタイルを提供
(視覚障害、知的・学習障害、肢体不自由、重複障害など)

2 みんなでつなぐ♡読書バリアフリー!!

(第2期最重点項目) 県内全域の読書が困難な人の読書・情報環境を向上させるために・・・

(1) 市町村図書館等との読書バリアフリーサービス連携・協力

- ①市町村図書館への読書バリアフリーサービスに関する啓発・情報提供
- ②県内の市町村図書館等と声と点字の図書館が相互に協力・連携して
地域の読書困難者へサービスを提供する体制の構築を目指す。
・利用者用録音図書再生機、タブレット等の図書館への貸出
・郵送サービス等の実施に係る連携・協力方法を検討
- ③学校図書館との連携・協力

(2) 読書が困難な人が多く利用する施設等（福祉、教育、医療機関など）との 連携・協力体制の構築

読書困難者の発見と当館への紹介など、当事者をサービスにつなげるサポート
を担っていただける協力機関を募集等により確保、拡大
○障害者支援施設、高齢者介護施設等 ○特別支援学校（学級）
○医療機関（眼科医療機関、リハビリテーション関係専門職団体等）

II 視覚に障害のある人の生活を支援する情報提供の充実

取組の方針：気軽に相談できる情報提供の窓口に！

(1) 見えない・見えにくいことの困りごと相談

(2) 視覚障害者用福祉機器等の展示・紹介

(3) ロービジョンケアネットワークへの参加協力

(4) 視覚障害者等へのICT利用支援(スマートフォン、タブレット、スマートスピーカー等のICT機器の紹介や利用方法の指導)

(5) 災害時の視覚障害者支援について

(6) 視覚障害者向けイベント等の開催

III 県民・市民との協働による読書・情報サービスの充実

取組の方針：みんなで支える読書バリアフリー!!

(1) 読書バリアフリーやボランティア活動への理解・啓発

・「読書が困難な人」の読書・情報環境や、これらの人の読書を支えるボランティア活動について、県民・市民の理解を促進し、より多くの皆さんの協力・参加を目指す。

(2) 各種サービスを支えるボランティアの養成・育成(点字・録音・デジタル資料製作ボランティア、対面音訳ボランティア養成及びスキルアップ講座を開催)